

[Blank lined area for notes]

おれ

去日中防橋坊工場の全提業と諸君に依り
協働者を皆物にして私腹をこやす

總同盟のヤシにたまたまの11日

口先で言うことと心付し、おれおれはさむ階君をおれこ

復同盟一、他者のほんの目的は労働者として使つて

命に代かう金とことごとく

復同盟の全方針本気は、鎌倉に於て花を運ぶ毎日の仕事に二

りきり、けなげから如神の白動車心通つておれ、他の一月の生活は

とちやねの回を協働の盟の事、たつた物事を思ふ、一、昨年の如くあるが

は、いしとこ大崎の電報を協働の盟、おれおれ、おれおれ、おれおれ

この、帰るにはオートバイで、おれおれ、おれおれ、おれおれ

おれおれ、おれおれ、おれおれ